埼玉県議会議員 並木まさとし

無所属

発行元：埼玉県議会議員 並木正年　〒365-0038 鴻巣市本町3-2-19-B　電話：048-541-7777　FAX：048-543-8000

会派 無所属 県民会議

たたかう政策集団

代表 鈴木 正人 志木市選出	副代表 醍醐 清 朝霞市選出	幹事長 岡 重夫 白岡市・宮代町選出	総務会長 菅原 文仁 戸田市選出
政務調査会長 井上 航 和光市選出	幹事長代理 石川 忠義 久喜市選出	総務副会長 並木 正年 鴻巣市選出	総務副会長 大嶋 和浩 熊谷市選出

平成29年度 予算特集！！

重点政策 「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現

人口構造の変化への挑戦

強い埼玉県経済

地域の安心・発展

埼玉県は、北陸新幹線や北海道新幹線の開通に加え、圏央道の県内全線開通に伴う成田空港との結節により、今後の交通優位性が益々高まります。

さらに、ラグビーワールドカップ２０１９や東京２０２０オリンピック・パラリンピックの開催など、埼玉県が発展し活性化する好機が近づいています。

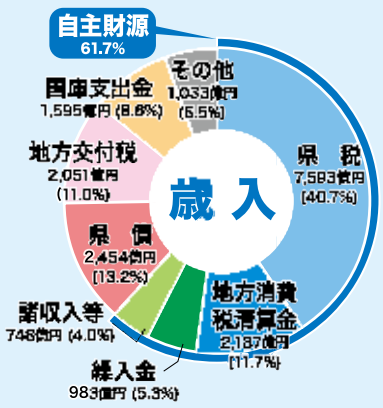
一方で、戦後一貫して増加してきた埼玉県の人口も、間もなく減少することが予想され、その後は全国で最も速いスピードで高齢化が進み、生産年齢人口の減少が加速する見通しです。

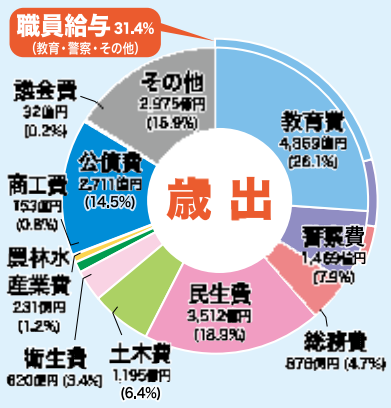
こうした環境の大きな変化に適応しつつ、埼玉県の明るい未来を実現することが必要との認識に立ち、平成２９年度は、「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現に資する各施策の取組を推進するとともに、限られた財源の中で選択と集中を図ることで、中長期的課題に適応した「未来への投資」に重点を置いた予算となっております。

一般会計合計 1兆8,644億2,700万円　前年比↘0.9%

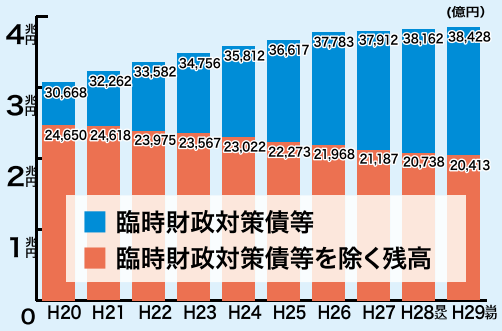
（全会計合計※ 2兆7,371億3,900万円　前年比↘2.6%）

※一般会計、特別会計(13)、公営企業会計(5)の合算





県債残高について



県民一人あたりの予算の使われ方

教育

県民一人あたり **59,480円**

教育局予算：4,336億円

▶科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト（新）

世界で活躍できる科学技術分野の人材育成のため、大学や研究機関と連携しながら本格的な研究に打ち込む機会を通じて、高校生の能力・才能の伸長を促す。

拠点校での研修

研究者による講義・指導助言や最先端機器を用いた研究・成果報告

研究機関での研修

研究者による講義・指導助言や最先端機器を用いた研究・成果報告

国内・海外研修

野外調査、学会参加、研究交流等

●科学的思考力、論理構成力、プレゼン能力の向上　●科学の面白さの発見
●課題発見、解決能力の育成　●未知の領域への探求心の育成

総務

県民一人あたり **51,070円**

総務部予算：3,723億円

▶私立学校父母負担軽減事業補助（一部新）

公私間格差是正のため、年収約５００万円～６０９万円未満世帯に対して補助を新設し、年収役６０９万円未満世帯まで授業料の実質無償化を実現させる。

私立高校の授業料等実質無償化を拡充!!　H28年 年収500万円未満 → H29年 年収609万円未満

▶税収確保対策（自動車税「納めてプラス」）

自動車税の納期内納税を証する領収書等の提示により、協賛店から割引等優待を受けることができるキャンペーンを実施する。

市町村

県民一人あたり **39,130円**

企画財政部予算：2,853億円

▶駅ホームの転落防止対策（一部新）

ホームドア設置を促すためのモデル事業に加え、補助制度を新たに創設する。（西川口駅など）

また、ホームドアが未設置の駅について、内方線付き点状ブロックの整備を促進するとともに、駅での声かけ・サポートの活動を支援し、駅ホームの安全対策を促進する。

ホームドア（和光市駅）

内方線付き点状ブロック（吹上駅）

県民一人あたりの予算の使われ方

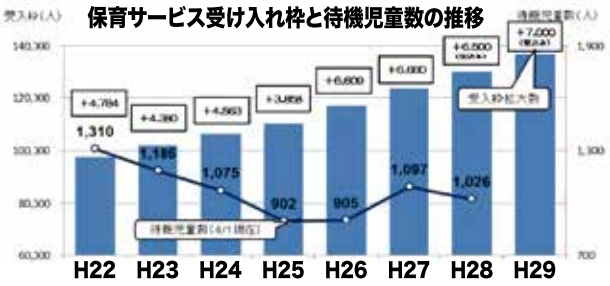
今年度の注目施策です。皆様の大切な税金の使い道を分野（部局）ごとにご説明します！

福祉

県民一人あたり
30,410円
福祉部予算：2,217億円

▶保育所待機児童対策の推進

保育所等の待機児童を解消するため、認可保育所の整備のほか、企業や幼稚園と連携するなど多様な保育サービスを拡充し、7,000人分の受入枠の拡大をはかります。



▶多子世帯応援クーポン事業新

多子世帯の育児にかかる身体的・精神的負担を軽減するため、第３子以降が生まれる世帯に子育てサービス等を利用できるクーポンを配布し、市町村がこれに上乗せして実施する給付事業に対し助成を行う。

▶特別養護老人ホーム等の整備促進

特別養護老人ホームの創設及び増床を促進するため、整備を行う社会福祉法人に対し整備費を補助する。平成２９年度は県補助事業分として、２５施設２，０３２人分が完成する予定。

保健医療

県民一人あたり
25,000円
保健医療部予算：1,822億円

▶救急電話相談の充実一部新

急な病気やけがに対する県民の不安に応え、救急医療機関の負担軽減を図るため、大人の救急電話相談＃７０００と小児救急電話相談＃８０００について、看護師による相談を２４時間３６５日受けられる体制を整備する。併せて全国共通ダイヤルとして普及が見込まれる＃７１１９からも相談できるようにする。

▶救急医療体制の充実一部新

緊急性の高い救急患者が、一刻も早く適切な医療機関で診療が受けられるよう、断らずに受け入れる救急医療機関を整備することなどにより、搬送困難事案の解消を図り、県民が安心して暮らせる環境を整備する。

▶ウェルカムベイビープロジェクト新

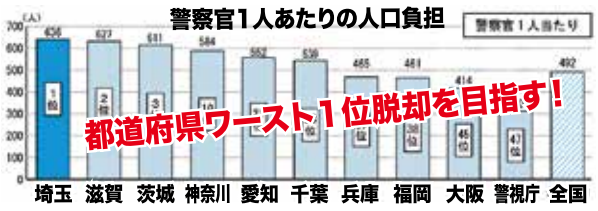
若い世代に対し、加齢による妊娠率の低下や妊娠・出産に係るリスクの増加等の正しい知識の普及啓発を行うとともに、子供を望む夫婦に対し、早期の不妊検査・不妊治療を受診する意識の向上及びきめ細かな支援により不妊検査費等の負担軽減を図る。

警察

県民一人あたり
20,150円
警察本部予算：1,469億円

▶警察官の大幅増員

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官を６４名増員し、安全で安心して暮らせる埼玉県を実現します。



道路河川

県民一人あたり
12,210円
県土整備部予算：890億円

▶オリンピック・パラリンピックに向けた道路標識の改善新

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人旅行者がわかりやすい英語表記、ピクトグラム・反転文字を活用した道路案内標識など改善を推進する。

平成２９年度は、道路案内標識の交換１４基及びシール貼り１２０基を実施する。

▶通学等の安全を実現する歩道整備

埼玉県における平成２８年の交通事故死者は151人で全国ワースト７位。歩行者の安全確保に効果的な、歩道整備を進める。平成２９年度は、７９箇所の歩道を整備する。

都市整備

県民一人あたり
4,190円
都市整備部予算：305億円

▶埼玉住まいる子育て応援プロジェクト一部新

多子世帯等への新築中古住宅取得・リフォームの助成を行うとともに、平成28年度から４年間で若年の低所得世帯向けに県営住宅を2,000戸供給する。平成２９年度はこのうちの４４０戸を募集。また、県営住宅の建て替えにより生み出した用地を活用し、子育て支援施設等の整備・運営を行う民間事業者を公募する。

▶ラグビーワールドカップ２０１９に向けた会場整備

熊谷ラグビー場を改修し、ラグビーワールドカップ2019の開催に必要な諸施設を整備する。平成29年度は新メイン・サイドスタンド工事と既存スタンドの改修を行う。

農業

県民一人あたり
3,170円
農林部予算：231億円

▶狭山抹茶振興モデル事業新

捨てられていた二番茶葉を有効活用するため、国内外で需要が拡大している抹茶の埼玉県における生産技術を確立・普及等することにより、意欲的な生産者を後押しし、儲かる経営を支援する。

産業

県民一人あたり
2,890円
産業労働部予算：211億円

▶企業「シニアの働く場」の拡大一部新

元気なシニアが意欲や希望に合わせて働き、生き生きと活躍できる社会を構築するため、シニア活躍推進宣言企業のフォローアップと拡大や７０歳雇用推進助成金の創設など、企業におけるシニアの「働く場」を拡大する。

▶先端産業創造プロジェクトの推進一部新

今後の成長が見込まれるナノカーボン・医療イノベーション・ロボット等、先端産業分野の実用化、製品化、事業化を一貫して支援することにより、先端産業の育成・県内集積を図るとともに、試作品等の性能評価を行う実証フィールドを産業技術総合センター内に整備する。

環境

県民一人あたり
1,370円
環境部予算：100億円

▶エコタウンプロジェクトの拡大一部新

展開エコタウンで既存住宅を太陽光発電などの創エネと徹底した省エネによってスマートハウス化を推進する。また、民間事業者と協働して、小規模な既存住宅街区をミニエコタウン化する取り組みを県内各地に拡大する。

くらし

県民一人あたり
1,260円
県民生活部予算：92億円

▶東京オリンピックに向けた選手育成

国体などで埼玉県代表として活躍し、オリンピック出場が期待できる選手を総合的にサポートする。

▶青少年の非行防止対策新

地域の幅広い人材が声かけを行う非行防止パトロールや、企業や団体等での体験等を通じて社会性を身につけさせる場所づくりなど、少年の非行化と立ち直りを支援する。

防災

県民一人あたり
710円
危機管理防災部予算：52億円

▶防災学習拠点事業

埼玉県防災学習センターは、開館から２０年以上経過し、展示機器等が老朽化したため、リニューアルする。

（平成29年3月末オープン）

（鴻巣市）

公営企業会計※

県立病院

病院局予算：680億円

▶高度・専門医療の機能強化

県立循環器・呼吸器病センター新館整備
（平成29年3月末オープン）

上水道

企業局予算：1,129億円

▶浄水場備蓄施設整備事業

震災時の応急給水として、地域防災計画で定める約７００万人１週間分の水を確保するため、大久保浄水場、庄和浄水場及び行田浄水場に備蓄施設を整備する。

下水道

下水道局予算：817億円

▶下水道施設の老朽化対策の推進

本県の流域下水道は、施設の老朽化が進行している。重大事故の防止と予算の平準化を図るため、下水道施設の計画的な改築を行う。荒川水循環センターの汚泥かき寄せ機の改築や市野川水循環センターの中央監視設備の改築など。

※「予算総額」は億単位まで、「県民１人あたりの金額」は予算総額を埼玉県民人口「726 万人」で除算し、10 円単位まで表記しています。上記の金額はあくまで目安ですのでご了承ください。

※地方公共団体が経営する公営企業の予算は、一般会計から切り離されており、独立採算方式で会計処理が行われております。